

令和 6 年度

深川地区消防組合会計
歳入歳出決算審査意見書

深川地区消防組合組合監査委員

深 消 監
令和 7 年 1 1 月 4 日

深川地区消防組合

管理者 田中 昌幸 様

深川地区消防組合

監査委員 金山 泰明

監査委員 眞島 秀樹

令和 6 年度深川地区消防組合会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第 2 9 2 条において準用する同法第 2 3 3 条第 2 項の規定により
審査に付された標記について、別紙のとおり意見を提出します。

令和6年度深川地区消防組合会計歳入歳出決算審査意見

○ 審査の概要

1. 審査の対象

令和6年度深川地区消防組合会計歳入歳出決算

決算附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

2. 審査の期日

令和7年10月20日から令和7年10月21日まで

3. 審査の方法

決算審査に当たっては、審査に付された深川地区消防組合会計歳入歳出決算及び事項別明細書等の決算附属書類が関係法令に準拠して調製されているか、その計数に誤りがないかなどを検証するため、深川地区消防組合監査委員処務運営規則第5条で規定する監査基準(深川市監査基準を準用する。)に基づき、深川地区消防組合監査計画に定めた決算審査の着眼点に沿って関係書類との照合等を実施するとともに、関係職員から事業内容及び決算の概要等の聴取や資料の提出を求め、財政的見地から計数を分析し推移の把握に努め審査を実施した。

なお、現金・預金及び支出証票書類の確認については、例月出納検査及び定期監査において実施したので、その結果を踏まえ審査した。

○ 審査の結果

決算書及び決算附属書類は、法令に規定された様式に準拠して作成されており、決算書等に表示された計数は関係諸帳簿及び証書類等により照合した結果、その係数は正確であり、予算の執行状況についても良好であると認められた。

なお、審査の対象となった会計の決算の状況等は以下のとおりである。

(注)

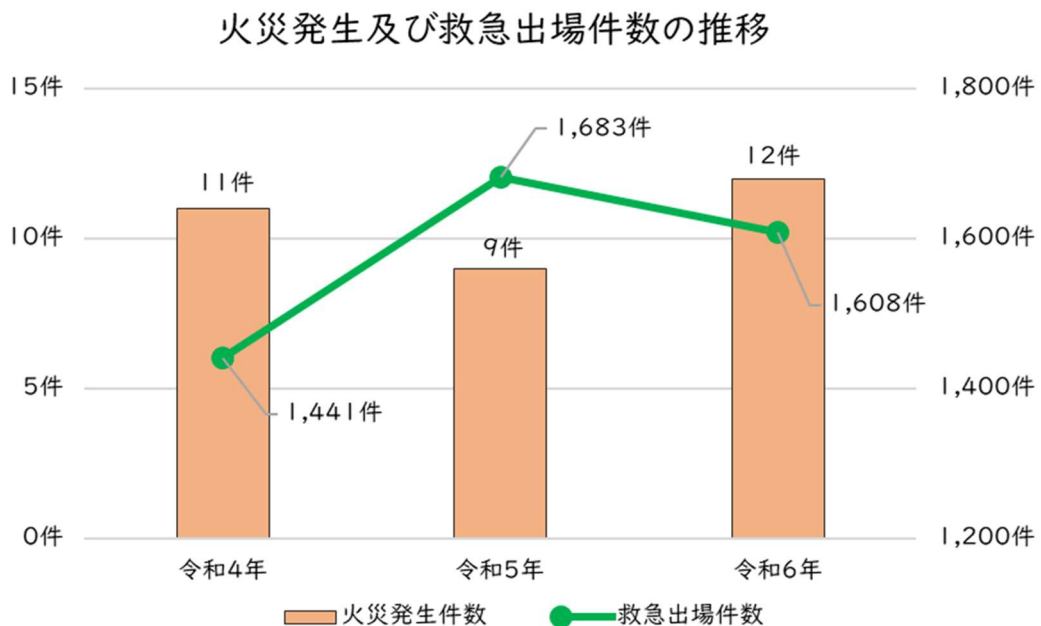
1. 文中及び各表中の金額を千円単位で表した場合は、原則として単位未満を四捨五入している。
2. 文中及び各表中の比率等の用法は、次のとおりである。
 - ・比率（％）…… 原則、少数点以下第２位を四捨五入している。
 - ・「0.0」…… 該当数値はあるが、0.05％未満のもの。
 - ・「―」…… 該当数値なし、算出不能又は無意味なもの。
 - ・「△」…… 減少、収支不足又は科目廃止
 - ・「皆増」…… 前年度に数値がなく全額増加したもの。
 - ・「皆減」…… 該当年度に数値がなく全額減少したもの。
3. 上記のように処理した結果、文中及び各表の数値の合計・差引・増減は一致しない場合がある。

令和6年度深川地区消防組合会計

1. 事業の概要

令和6年深川地区消防組合（構成市町：深川市・妹背牛町・秩父別町・北竜町・沼田町）管内の火災発生件数は12件（前年9件）、また救急出場件数は1,608件（同1,683件）となっている。

これらの出動に備え、消防車両や設備等の整備事業を行うとともに、防火・防災意識向上のための啓発活動を実施し、管内住民の命と暮らしを守るために取り組んでいる。



2. 予算の執行状況

令和6年度決算は、歳入 969,771 千円（執行率 95.5%）、歳出 916,769 千円（同 90.2%）で、53,002 千円の剰余を生じ、翌年度に繰り越すべき財源 14,901 千円を除いた実質収支額は 38,101 千円の剰余となっている。また、前年度実質収支額 34,321 千円を除いた単年度収支額は 3,780 千円の剰余となっている。

歳入歳出年度別決算状況

	令和6年度 (千円)	令和5年度 (千円)	前年度比較	
			増減額 (千円)	増減率 (%)
歳 入	969,771	1,062,939	△93,168	△8.8
歳 出	916,769	1,022,400	△105,631	△10.3
歳入歳出差引額	53,002	40,539	12,463	30.7
翌年度へ繰越すべき財源	14,901	6,218	8,683	139.6
実 質 収 支 額	38,101	34,321	3,780	11.0
単 年 度 収 支 額	3,780	△6,878	—	—

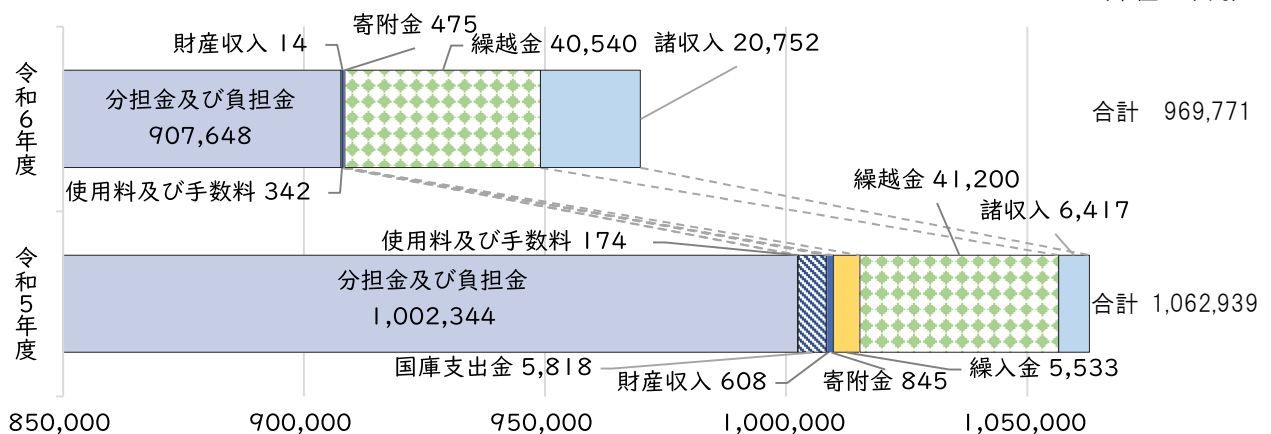
(1) 歳 入

予算現額 1,015,870 千円に対し、調定額及び収入済額とも同額の 969,771 千円で、予算現額に対して 46,099 千円減少となっている。

収入済額を前年度と比較すると、93,168 千円、8.8%の減少となり、その内訳は、使用料及び手数料 169 千円（増減率 97.2%）、諸収入 14,335 千円（同 223.4%）の増加に対し、分担金及び負担金 94,697 千円（同△9.4%）、国庫支出金 5,818 千円（同 皆減）、財産収入 594 千円（同△97.7%）、寄附金 370 千円（同△43.8%）、繰入金 5,533 千円（同 皆減）、繰越金 660 千円（同△1.6%）の減少となっている。

歳入内訳

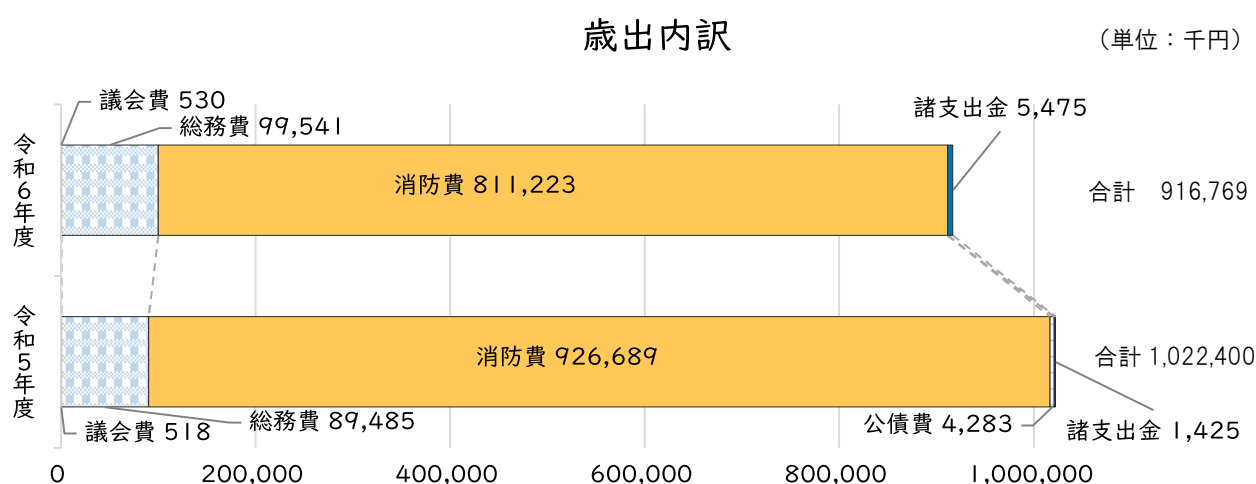
(単位：千円)



(2) 歳 出

予算現額 1,015,870 千円に対し、支出済額 916,769 千円、翌年度繰越額（繰越明許費）64,357 千円となり、不用額は 34,744 千円となっている。

支出済額を前年度と比較すると、105,631 千円、10.3%の減少となり、その内訳は、議会費 12 千円（増減率 2.2%）、総務費 10,056 千円（同 11.2%）、諸支出金 4,050 千円（同 284.2%）の増加に対し、消防費 115,466 千円（同△12.5%）、公債費 4,283 千円（同 皆減）の減少となっている。



3. 審査意見

深川地区消防組合では、構成市町（深川市・妹背牛町・秩父別町・北竜町・沼田町）住民の安心・安全を確保し、複雑多様化する様々な災害に備えるため、消防・救急体制の充実を図り、地域の消防団員と協力し地域防災力の強化に努めている。

令和6年度は、北竜支署及び沼田支署において、119番通報を高機能消防指令センターで受け付けする一元化整備工事を施工し、令和7年4月から組合管内全ての119番通報は高機能消防指令センターに切り替えられ、GPS機能などを活用して通報場所が素早く特定できるようになり、迅速で効果的な対応を可能にしたほか、救助活動用ボートの整備、広報用消防車両を更新するなど、消防体制の維持・向上に取り組んでいる。

これらの業務の実施により、令和6年度決算は、歳入 969,771 千円で、前年度に比べ 93,168 千円、8.8%の減少、歳出 916,769 千円で、前年度に比べ 105,631 千円、10.3%減少している。歳入が歳出を上回っていることから、53,002 千円の剰余を生じ、翌年度へ繰り越すべき財源 14,901 千円を除いた実質収支額は 38,101 千円の剰余

となっている。また、前年度実質収支額 34,321 千円を除いた単年度収支額は 3,780 千円の剰余となっている。

このほか、消防施設や資機材の整備拡充に備えるための資金として、消防施設整備基金に 5,475 千円の積み立てを行っている。

令和 6 年の火災発生件数は前年から 3 件増加し 12 件、救急出場件数は前年から 75 件減少し 1,608 件であった。火災を未然に防ぐための予防思想の普及啓発活動や万が一に備えた救命救急講習会の開催など、地域住民と協力した活動により地域全体の防災力を高めていただきたい。

近年、異常気象や人口減少・高齢化などにより、社会環境は急激に変化しているが、地域住民の命と暮らしを守るという使命を果たすため、施設や車両の更新も計画的に行うとともに、職員一人ひとりが専門的な知識、技術の習得に努め、災害態様の変化に対応しながら消防力を維持していかなければならない。

同組合は構成市町の負担金が主な財源となっているが、構成市町の財政状況は厳しさを増すことが予測されることから、引き続き事務事業の効率化と経費節減を図るとともに、今後も各種災害から住民の生命、身体及び財産を守るため、的確かつ迅速な総合的消防力の充実強化に努められたい。

予 算 執 行 状 況

歳 入

(単位：円)

	予 算 現 額					決 算 額		不納欠損額	収入未済額	対予算増減	執行率(%)	備考
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額	合 計	構成比率(%)	収入済額	構成比率(%)					
分担金及び負担金	929,889,000	21,000,000	6,218,000	957,107,000	94.2	907,647,758	93.6			△ 49,459,242	94.8	
使用料及び手数料	390,000			390,000	0.0	342,450	0.0			△ 47,550	87.8	
国 庫 支 出 金	1,591,000	△ 1,591,000		0	0.0	0	0.0			0	0.0	
財 産 収 入	53,000			53,000	0.0	14,110	0.0			△ 38,890	26.6	
寄 附 金	500,000			500,000	0.1	475,000	0.1			△ 25,000	95.0	
繰 越 金	1,001,000	39,536,000		40,537,000	4.0	40,539,608	4.2			2,608	100.0	
諸 収 入	12,563,000	4,720,000		17,283,000	1.7	20,752,072	2.1			3,469,072	120.1	
合 計	945,987,000	63,665,000	6,218,000	1,015,870,000	100.0	969,770,998	100.0	0	0	△ 46,099,002	95.5	

歳 出

(単位：円)

	予 算 現 額					決 算 額		翌年度繰越額	不用額	執行率(%)	備考
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額及び流用増減額	合 計	構成比率(%)	支出済額	構成比率(%)	継続費通次繰越繰越明許費事故繰越			
議 会 費	676,000			676,000	0.1	529,566	0.1		146,434	78.3	
総 務 費	102,923,000			102,923,000	10.1	99,541,186	10.8		3,381,814	96.7	
消 防 費	841,684,000	58,665,000	6,218,000	906,567,000	89.2	811,222,717	88.5	64,357,000	30,987,283	89.5	
公 債 費	10,000			10,000	0.0	0	0.0		10,000	0.0	
諸 支 出 金	503,000	5,000,000		5,503,000	0.6	5,475,360	0.6		27,640	99.5	
予 備 費	191,000			191,000	0.0	0	0.0		191,000	0.0	
合 計	945,987,000	63,665,000	6,218,000	1,015,870,000	100.0	916,768,829	100.0	64,357,000	34,744,171	90.2	